

今年も、全日本野球協会と日本野球連盟が主催となって、
学生対象の野球に関するデータ分析競技会を開催します！



昨年の様子
(記事)



一般財団法人
全日本野球協会
BASEBALL FEDERATION of JAPAN



JABA

第5回

野球データ分析競技会

<実施概要>

【日程】 2026年2月14日(土)・2月15日(日) 2日間

【場所】 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

(東京都新宿区／神宮球場そば)

【対象】 高校生、大学、大学院生

(1～3名で1チーム／同じ学校でなくても構いません)

【応募期間】

2025年12月1日(月)～2026年1月13日(火)

※厳正な審査をもって、1月20日(火)までに

決勝進出チームを発表します

【応募方法】 次頁をご確認の上、下記QRコードから
お申込みください

【決勝進出】 6チーム(応募の中から6チームを書類選考)

【費用】 交通費はご負担ください

(宿泊費、2日目の朝食、昼食は主催者で負担します)

お申込みはこちらから

右記QRコードから
お願いします。



<https://forms.gle/Qtdh6YRisxmzageX9>



運営協力

運営協力：学生データアナリストチームRAUD

X



Instagram



【応募方法】

■下記のGoogleフォームにアクセスし、下記をご記入ください

- ・参加者全員の氏名
- ・代表者のE-mailアドレス
- ・学校名
- ・競技歴
- ・スポーツとの関わり

■選考にあたり、下記のテーマとした課題の提出をお願いしております。

テーマ：**スポーツ科学の視点から考える大谷翔平の長打力向上プラン**

Baseball Savantの打球データおよびバットトラッキングデータを用いて、大谷翔平選手のスイング速度・軌道・効率性と打球結果の関係を分析し、長打率や本塁打数の向上に向けたスポーツ科学的根拠に基づく具体的な改善ポイントおよび改善施策を提案してください。

【課題の趣旨】

野球チームにおけるアナリストの役割は、データを計測・集計するだけでなく、チームや選手の意志決定に活用できる形にすることです。そのためには、指導者や選手への的確な助言だけでなく、バイオメカニクス、トレーニング科学、心理学、コーチング論など幅広い知識が求められます。本課題では、こうしたスポーツ科学の観点から改善策を提案できる能力も評価対象とします。

※課題に関しましては以下の点をご確認ください。

- ・MLBのデータサイトBaseball Savantのデータを用いること。

データのダウンロードの方法は、こちらの動画をご覧ください。

※提出するファイルはPowerPointで作成し、PDF形式で提出ください。

※ファイルサイズは1GB以下としてください。

お申込みはこちらから

右記QRコードから
お願いします。



<https://forms.gle/Qtdh6YRisxmzageX9>

運営協力

運営協力：学生データアナリストチームRAUD

X



Instagram

